

<現在整備されている機器> プロジェクターまたは大型TV	<新規導入する機器> 実物投影機
---------------------------------	----------------------------

教科	導入によって実現可能な学習場面	○新たな学び	◇身に付く力
国語	<ul style="list-style-type: none"> 教科書などの挿絵を画面に映して、登場人物の気持ちの変化を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○クラス全体で、拡大表示されている画像を見ながら、登場人物の心情などを友だちと考え合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇友だちの考えを聞きながら、自分の考えと比べ、修正していく力
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な形の彫刻刀で木を彫る様子を、手元を拡大して画面に映し、彫刻刀の用途について気付いたことを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に彫刻刀を使うことができるとともに、用途によって使う彫刻刀を選択する必要があることが明らかにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分の気付いたことを、具体物を示しながら説明する力 ◇友の考えの良さを認め、友の考えを自分の追究に取り入れる力
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラのアームを曲げてビデオ装置として利用し、実験の様子を映すことで、事象の変化を学級で共有しながら、考えを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事象の変化を共有することで、根拠を明らかにしながら考えを伝え合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇根拠を明らかにしながら、友の考えを踏まえて自分の考えを深める力
算数 ・ 数学	<ul style="list-style-type: none"> ・線分の垂直二等分線や角の二等分線の引き方をTVに映しながら発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作図する手順を確認しながら発表を聞き合うことで、友と自分の作図方法の共通点や相違点を見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇手順に違いがあっても正しい作図ができることから、手順ではなく作図に必要な条件に着目する力